



ラーメンで癒される

初めて私に会う多くの日本人は「和食っておいしい?」という質問をします。その質問に「はい」と答えたら、「一番好きな和食は?」とよく聞かれます。去年行われたネット調査の結果によると、外国人が一番好きな日本食は寿司ということが分かりました。寿司に並んで、焼き肉が2位を取りましたが、私の好きな日本食のラーメンは3位でした。私はラーメンが大好きです。どうしてかという、いくつかの理由がありますが、ラーメンの治療力が一番好きです。

困った時や、ストレスがたまったり、疲れた時、運動が終わった後に、ラーメンが食べたくなります。その理由は、ラーメンはいくつかの食べ物を一品にまとめていて、様々な野菜と美味しいお肉を油の多いスープに入れたら、心も体も癒してくれるラーメンが出来ます。日本にラーメンを食べる過程の全てが好きです。ラーメン屋さんに入ってから、ご馳走様と言うまで全部が好きで全部が面白いと思います。

私とラーメンの付き合いは学生時代に茨城県で始まりました。茨城県の水戸市にある「じゃんラーメン」というラーメン屋さんは私が住んでいた国際交流会館に近く、木曜日を除き、11時から23時まで営業します。そこで初めて、本物のラーメンの味を口にした。日本に来る前に、アメリカでも売っているカップラーメンをいっぱい食べてきたのですが、やっぱり本物には負けます。しかし、その場でラーメンに惚れた訳ではありませんでした。

その時から約一か月が経ち、漢字のテストで失敗してしまいました。一所懸命勉強したのに合格出来ませんでした。ある日、学校が終わった後、ラーメンを食べに行きました。ずっと落ち込んでいたが、醤油で出来たスープと固めの麺類を口まで上げた瞬間に元気が少しだけ出ました。そして、スープも全て飲み干し、全部食べ終わったら漢字試験のストレスが完全に消えました。

最近、困ったことは本当に少ないですが、幸せな時でもラーメンが食べたいです。この記事で、皆さんに、ラーメンのあふれる魅力を発信したいと思います。

Ramen-The Universal Healer

The first question that a lot of Japanese people ask me when they meet me for the first time is, "Do you like Japanese food?" And when I've answered "Yes" to this question, they usually follow up with, "What's your favorite?" According to an internet survey conducted last year, foreign people's favorite Japanese food is Sushi, closely followed by Yakimiku. My favorite Japanese food, however, is the 3rd place Ramen. While there are many reasons why I love Ramen, probably the most important is its healing ability.

Ramen is the perfect food for when you're feeling troubled, stressed, tired or even after a good workout. I think this is because Ramen is the combination of many different foods into one dish. All of the various vegetables and delicious meat, swimming together in a lovely, greasy soup; it is surely the best way to heal body, mind and soul. I love everything about the Ramen experience, from the second I walk into the door until I finally say, "Gochisousama" (Japanese expression thanking the cooks for the meal).

My relationship with Ramen started about 2 years ago when I was studying in Ibaraki Prefecture. There was this place called "Jan Ramen" that was about a 5 minute walk from the dorm I was living in, and was open every day of the week, with the exception of Thursday, from 11 in the morning until 11 at night. Before I came to Japan, I had eaten Cup-o-Noodles "ramen" that you can buy in most super markets in America, but I hadn't ever had the real stuff until I stepped through the doors of Jan Ramen. However, it was not there, on that first day, that I truly fell in love with Ramen.

About a month later, I had done pretty poorly on a Kanji Test, even though I had studied hard for it. So after school ended, I decided to go get some Ramen. Although I had been feeling pretty down all day, as soon as the first bit of soup touched my lips, I began to feel better. By the time I had finished the bowl (I even drank all of the left over soup), the stress of the day had been completely washed away.

Recently, I really haven't had very much to be worried and down about, but eating Ramen is even better when you're feeling happy! By reading this article, my hope is that some of you have been inspired to wash away your own troubles with a lovely bowl of Ramen noodles!



もり たけあき
森田 孟諒ちゃん(0歳)浦西在



ひが めい
比嘉 愛唯ちゃん(0歳)安波茶在



うえざと えま
上里 絵麻ちゃん(0歳)内間在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。

窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。

※被写体の子どもの氏名(ふりがな)・年齢(0か月,1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)一言コメントの記入を忘れずに!

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1

浦添市役所 国際交流課

☎876-1234(内線2613・2614)

E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp

ハイサイ こちら市長室!

「ワクワクする未来都市
うらそえ」

現在、キャンプ・キン
ザーの海沿いに那覇空港
から宜野湾コンベンショ
ンセンターまで繋ぐ道路
を平成29年度内の完成予
定で建設中です。

既に埋立工事を終えて
いる臨港道路とキャン
プ・キンザーに挟まれた
8.5haの土地は、今後の西
海岸開発第2ステージの
展開とキンザー返還後の
跡地利用とが連動する重
要な場所です。去る12月1
日、市はこの土地の売却
先であり事業予定者とし
てサンエーさんを選び、
基本協定書を締結しまし
た。ところが、それが報道
されると、この場所にも
ショッピングセンターが
必要なのか?などの問
い合わせが私にも寄せら
れました。

サンエーさんは県内
スーパー最大手で、既に
市内も含め県内のいたる

所に存在することからそ
のような疑問が生じたの
でしょう。しかし、既存の
ショッピングセンターを
私たちが想定しているわ
けではありません。私た
ちとサンエーさんが目指
している施設とは浦添市
民のみならず県民のみな
さんに、あるいは県外や
海外からの観光客にも喜
ばれるような複合型交流
商業施設です。つまり沖
縄を訪れたみなさん全員
が足を運びたいくなるよ
うな場所であり、もつと
言えば、お客様のためのだ
けの施設ではなく、そこ
で働く人にも地域の人にも
喜ばれる、浦添から新し
いライフスタイルや交流
を提供、提案できるよ
うな場所、言つたれば、市民
が自慢したくなるような
創造的「新空間・街」にし
ていきたいのです。

私はキャンプ・キン
ザー跡地開発と西海岸開
発とを一体的に構想すべ
きだと思っています。



▲イメージ図案

問い合わせ 秘書課
☎876-11234
(内線2563)



浦添市長
松本哲治

文化課発信

うあむー

ありんくりん

第10回

～ 勢理客橋の碑 ～

皆さん、明けましておめでとうございます! 今年も浦添の文化財をよろしくお願いします。

さて、年末年始は家にこもりがちで体が鈍っていないでしょうか。そんな方には是非行ってほしい「勢理客橋の碑」を紹介します。そもそも勢理客橋なんて文化財があったっけ?と疑問に思われた方が大半だと思います。

実は勢理客橋は、沖縄戦で米軍の進撃を阻むために破壊され、失われてしまった文化財なのです。しかし、小湾川にかけられた勢理客橋は那覇から北方へ至る国頭街道筋にあり、交通往来上非常に重要な橋でした。架橋の年代はわかっていませんが、古くから石で造られていてとても立派だったそうです。

橋は劣化や大洪水などで壊れ、1679年、1691年、1744年と三度にわたり大掛かりな修築が行われました。その際、顛末などが記された記念碑が建てられました。それが「勢理客橋の碑」なのです。

現在、勢理客橋はコンクリート造りになっていますが、碑は復元され当時の姿を見ることが出来ます(1691年修築時の碑)。また、橋の修築にあたっての動員数や、その賃金などを記載した解説板も設けています。

ここまで読んだ皆さん、新年初のウォーキングの目的地が決まりましたね。これで浦添通になること間違いなし! ではまた来月にお会いしましょう!



▲勢理客橋の碑



▲勢理客橋の碑地図

問い合わせ 文化課 内線6214・6217